



令和2年9月30日
第十管区海上保安本部

海域火山監視観測結果について

第十管区海上保安本部は、航空機による管内の主な海域火山の監視観測を実施し、防災のための基礎資料とするほか、火山噴火予知連絡会に情報提供を行っています。

9月29日(火)、京都大学防災研究所火山活動研究センター井口正人教授の指導のもと、当本部鹿児島航空基地所属航空機を使用して海域火山監視観測を実施しましたので、この結果をお知らせします。

1. 観測概要

実施日時：9月29日(火) 午前10時35分から午後2時30分

観測対象：桜島、開聞岳、薩摩硫黄島、口永良部島、口之島、中之島、諏訪之瀬島、悪石島、上ノ根島、横当島

活動状況：別紙のとおり（噴火警戒レベル2以上の火山の撮影写真）

2. 観測結果（井口教授の所見）

今回の航空機による目視観測では、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島の火山活動は依然活発な状態であった。

桜島：火口底を観測することができた。A火口では溶岩が上がってきているのが目視できた。B火口ではガスが噴出しているのを目視した。昭和火口では特段の変化は見られなかった。

薩摩硫黄島：火口内を観測することができた。特段の変化は見られなかった。

口永良部島：火口底を観測することができた。このことは、火山ガスが減っていることによるものと思われる。

中之島：火口の中が土砂で埋まっていることを目視した。他は特段の変化はなかった。

諏訪之瀬島：火口底を観測することができた。火山灰が溜まっており、火口底が浅くなっているように見えた。

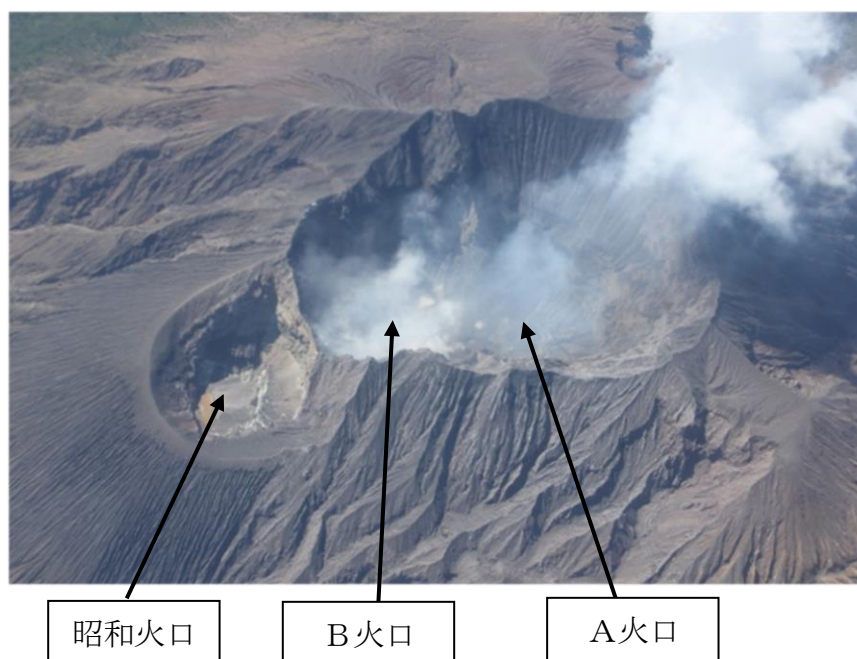
開聞岳、口之島、悪石島、上ノ根島、横当島：特段の変化は見られなかった。

【桜島】南岳山頂火口（A火口、B火口）及び昭和火口を北東方から撮影
（11時4分）

- ・火口底を観測することができた。
- ・A火口では溶岩が上がってきているのが目視できた。
- ・B火口ではガスが噴出しているのを目視した。
- ・昭和火口では特段の変化は見られなかった。



参考：火口位置



【薩摩硫黄島】 硫黄岳を北東方から撮影（11時33分）

火口内を観測することができた。特段の変化は見られなかった。



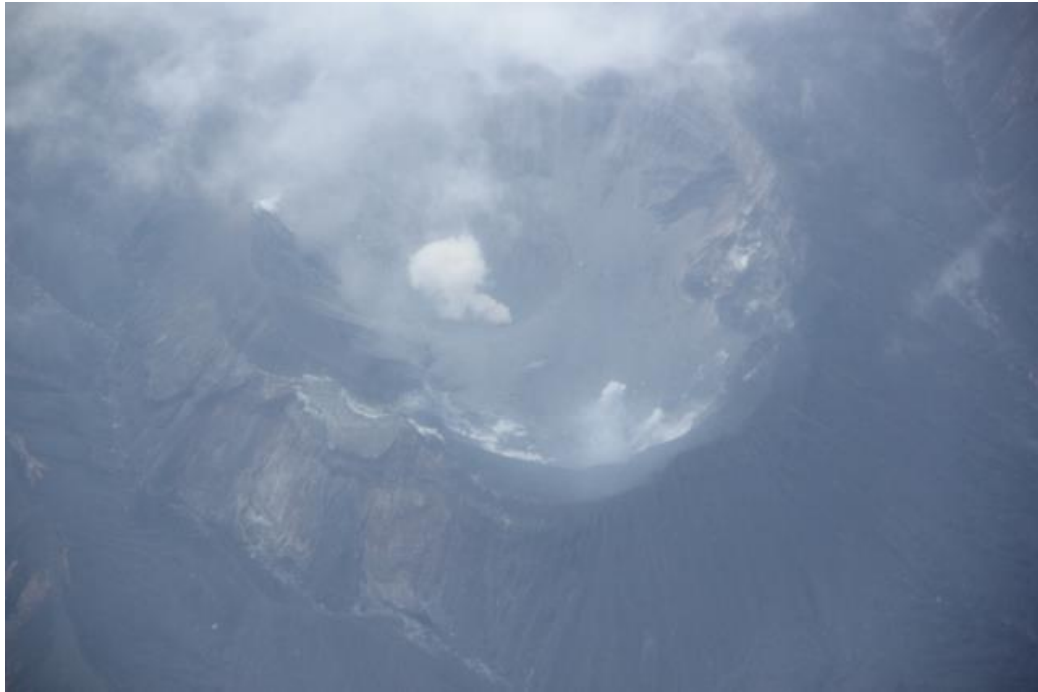
【口永良部島】 新岳火口を西方から撮影（11時48分）

火口底を観測することができた。このことは、火山ガスが減っていることによるものと思われる。



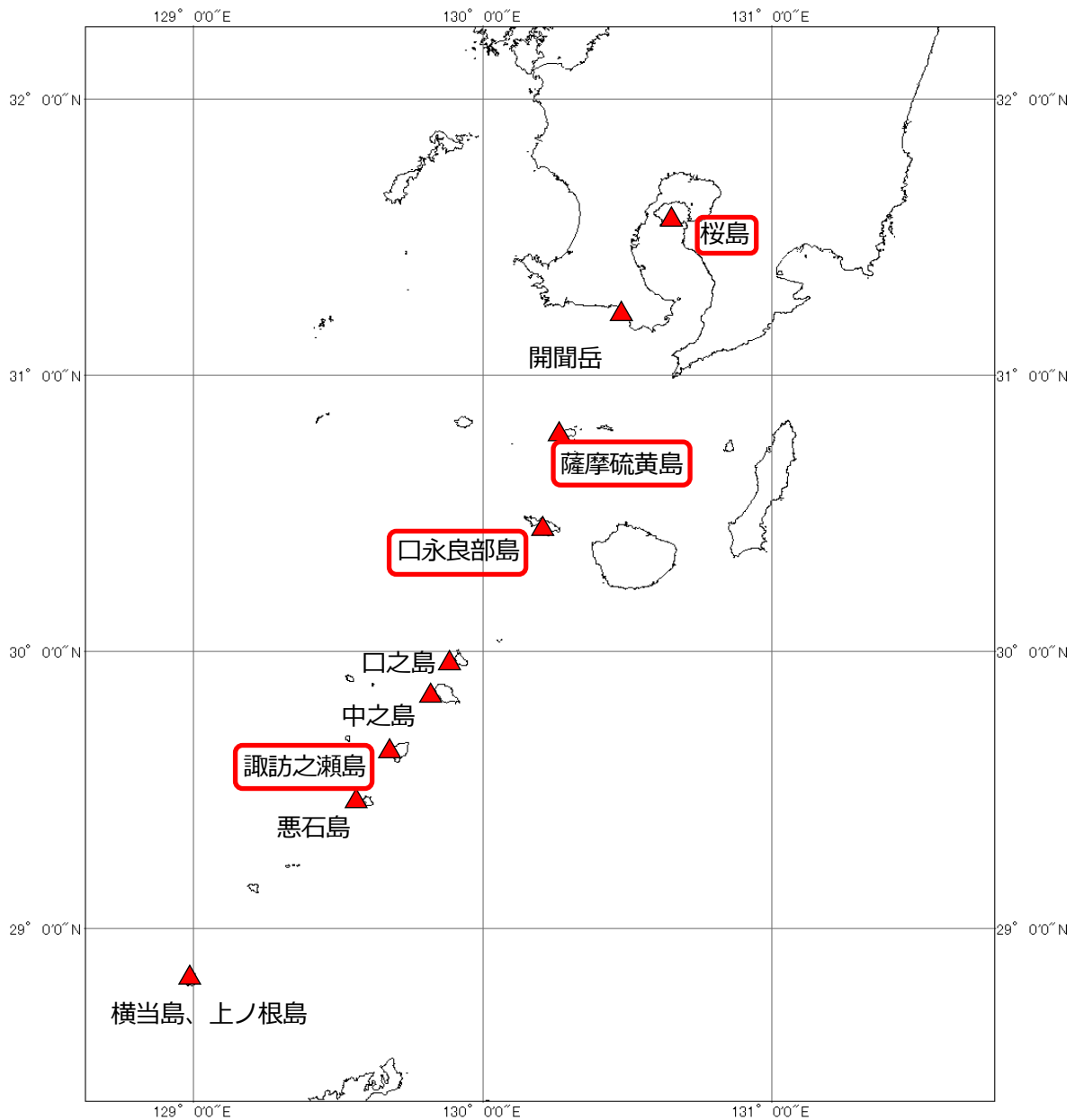
【諏訪之瀬島】 燃岳火口付近を北東方から撮影（12時19分）

- ・火口底を観測することができた。
- ・火山灰が溜まっており、火口底が浅くなっているように見えた。



【参考】

今回監視観測した海域火山



噴火警戒レベル2以上の火山